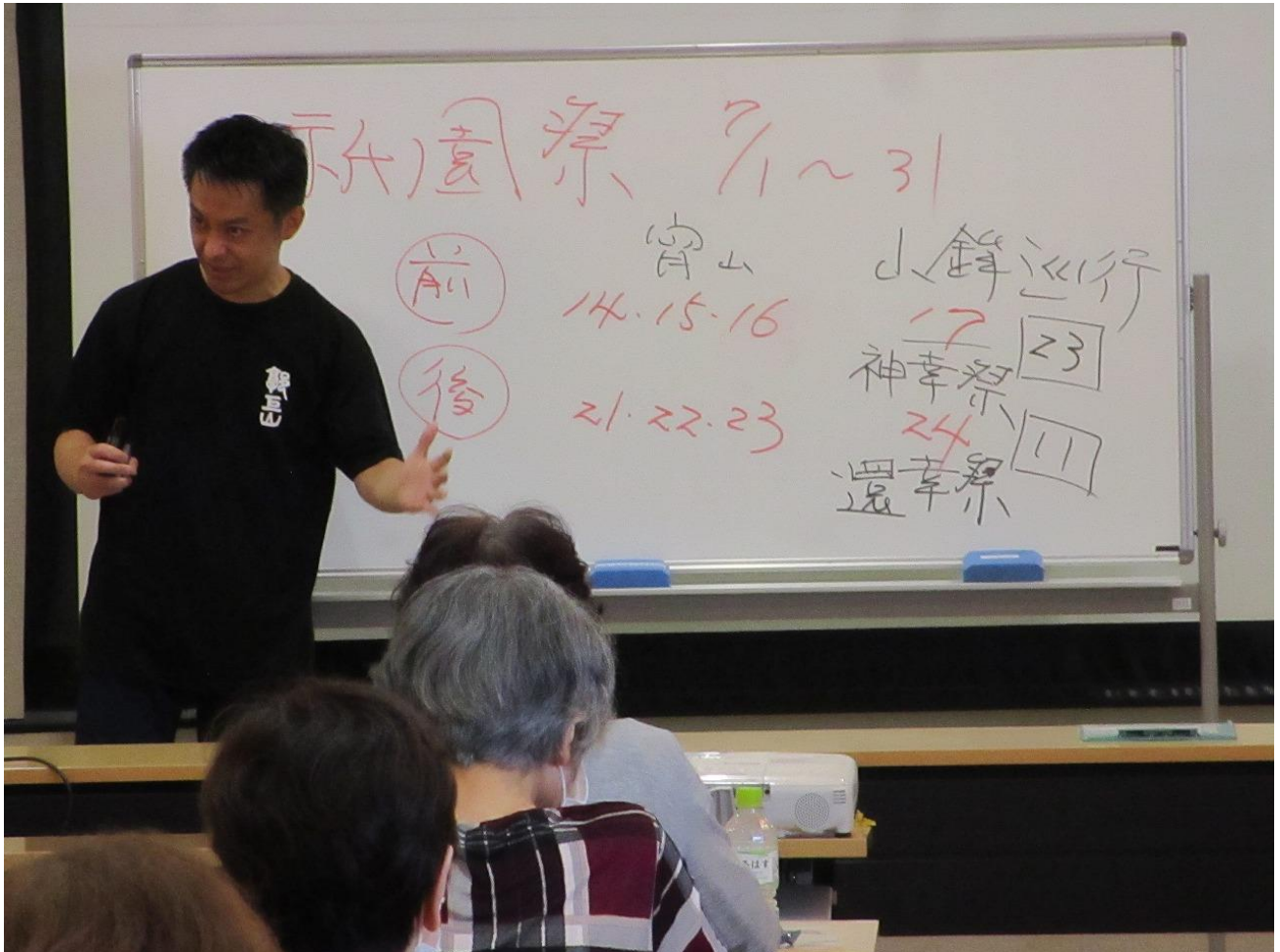


～ドラマティックな歴史講座～

テーマ：御霊信仰はなぜ始ったのか？

講師：若村 亮先生

日時：7月3日（月） 10:00～11:40



千年の都として繁栄を極めてきた京都。その華やかな歴史の裏には、疫病に苦しむ民衆や政治の権力争いに敗れて非業の死を遂げた人物が数多く存在し、その荒ぶる魂は怨霊化して人びとに災いをもたらした。怨霊化した非業の人物を崇め祀る神社から、疫病退散などを願って始められた祭りまで怨霊の影に迫ります。



怨霊（御霊）を鎮めて祀る 御霊信仰



災厄を鎮める 祟⇔崇 神仏習合

①長岡京遷都が生みだした怨霊：

早良親王 長岡京造営の中心人物・藤原種継の暗殺に連座したとして乙訓寺に幽閉されたが、無実を訴えて断食を行いそのまま餓死した。

しかし桓武天皇は死後処刑を行い、亡骸を淡路島に流したが、これが怨霊問題へと発展した。怨霊を恐れて「崇道天皇」と追号した。

崇導神社／上御霊神社



崇道天皇 崇導神社

②左遷されて悲運の死を遂げた怨霊：

菅原道真 九州・太宰府に左遷され非業の死を遂げた。

以来、京では疫病が流行り、日照りが続き、御所・清涼殿に雷が落ちて貴族が死ぬほど天災が相次ぎ、“これは道真の怨霊に違いない”と人びとは恐れ戦き、その怒りを鎮めるために北野天満宮に祭神として祀られた。

菅大臣神社／菅原院天満宮／文子天満宮／水火天満宮／



天神

③史上最大の怨霊と化した悲運の天皇：

崇徳天皇 第75代天皇。鳥羽天皇の圧力で近衛天皇に譲位。のち保元の乱を起こし、讃岐国に配流されて悲運のうちに没し、怨霊化したとされる。父は鳥羽天皇。母は待賢門院（藤原璋子）鳥羽天皇の第一皇子であったが父からは疎んじられた。

これは崇徳天皇が鳥羽天皇の実子でなく、祖父・白河天皇と待賢門院（白河天皇がのちに鳥羽天皇に与えた女性）との間にできた子であったためとされる（諸説あり）。

安井金比羅宮、縁切り縁結び碑がある。



安井金比羅宮

平安京 遷都 怨霊から新都を守る四神と猿

●四神相応の地

北に丘陵：玄武・船岡山、東に流水：青龍・鴨川、南に湖：朱雀・巨椋池、西に大道：白虎・山陰道がある地形で平安京は四神相応の地とされた。

●鬼門封じ

北東の方角は人びとに災いをもたらす「鬼門」と呼ばれ災いを封じることが大切とされた

■幸神社

平安京の鬼門守護を担ったとされ、現在も社殿の鬼門に木造の猿が祀られている。

その他 魔界スポット・人物

■六道珍皇寺 千本ゑんま堂：小野 篁 昼は嵯峨天皇に仕え夜は閻魔大王に仕えたという

■随心院：小野小町の邸宅跡と伝えられている。伝説・百夜通い、深草少将の悲願叶わず

■一条戻橋：平安京の一番北の通りにあり、この橋が洛中と洛外を分ける橋でもあった。三善清行の葬列がこの橋を通った際、熊野で修行中の息子が父の死を聞いて急ぎ帰って棺にすがって祈ると、雷鳴とともに一時生き返ったという伝説がある。

●陰陽道・式神：阿倍晴明が戻橋の下に隠していた十二神将の化身である式神だった。

●渡辺綱「鬼女伝説」：夜中に戻橋を通りかかると美しい女性がおどろき・鬼女だった。

綱の髪を掴んで愛宕山の方角へ飛んでいく途中鬼女の腕を太刀で切り落として逃げることができた。北野天満宮の本殿前に落ちたと伝えられる。天神さんのご加護に感謝して石灯籠を奉納したと（綱灯籠）

●千利休の晒し首：豊臣秀吉によって茶人・千利休の首級が晒された。